

原料費調整制度について

当社では、ガス料金の透明化を図るために、L Pガスの輸入価格に応じてL Pガスの販売価格を調整する、原料費調整制度を導入しております。当社では毎月調整を行っており、従量料金に対して調整が行われます。L Pガスの輸入価格は、サウジアラビア、北米等の輸出価格（C P・M B）、為替レート、タンカー運賃等の変動により変わってきます。当社では、L Pガス料金の安定の観念から中東品のL Pガスと北米品のL Pガスの両方を採用しています。調整額につきましては、当社ホームページまたは、検針票にてご確認いただけます。

原料費調整額の算出方法の一例

2019年2月の調整額の算出方法 **▲17.8/m³**

基準原料価格 **63,900円/t**

中東品コスト

C P (\$/t) 1月=430 2月=440

合成C P (\$/t) 1月C Pと2月C Pの平均 = (430+440) ÷ 2 = 435

合成C P × 為替（前月1日～末日の平均為替）+中東タンカー運賃（円/t）×0.75（割合）

435 × 109.98 + 5100 ≈ 52940 (1の位四捨五入) × 0.75 ≈ 39705

北米品コスト

M B (\$/t) 1月=343.49

米国物流経費 (\$/t) 87.0

(M B + 米国物流経費) × 為替（前月1日～末日の平均為替）+ 北米タンカー運賃（円/t）×0.25（割合）

(343.49+87) × 109.98 + 7650 ≈ 55000 (1の位四捨五入) × 0.25 ≈ 13750

※石油石炭税 **1,860 (円/t)**

中東品コスト+北米品コスト+石油石炭税

39705+13750+1,860=55315

55315 - 63900 = ▲8585

▲8585 ÷ 1,000 = ▲8.585円/kg

▲8.585 ÷ 0.482 ≈ ▲17.8円/m³ (小数第二位四捨五入)

※0.482はL Pガスのkgとm³間の産気率